

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第 1 回 長太小学校 学校運営協議会 実施報告書

◆日 時 令和6年5月27日(月)16:00 ～ 17:00

◆場 所 図書室

◆あいさつ(委員長、学校長)

加藤元委員長 吉田さんに代わって委員長を務めます。
市川学校長 落ち着いて新学期をスタートできています。

I 協議内容

(I) 本年度の学校経営方針等について(学校長)

①令和6年度長太小学校改革方針(別紙)

(教頭) 長太小学校の職員はチームで学年を超えて協力し合っている。あたたかい雰囲気。

(A 委員) 綴り方というのは日記のことか。(そうです)とても大切なことと思う。書くのは少しでもいいと思う。続けてほしい。

(B 委員) 先生方の働き方の改革ですが、現状は先生は何時に出勤して何時に帰っているのか。頑張っておられる。

(学校長) 朝は子どもが来るまでには出勤する。7:30 を過ぎたころには出勤している。朝方の人など人それぞれ。帰りは、時期にもよるが、遅い先生で21時頃です。

(B 委員) 一般企業では、8 時間労働であるが、先生方はすごい。いろいろなことをやってもらっている。宿題を見たり、テストの採点をしたり一人ひとりの子どもへの返事とか。ご自分の担当している子のことをいろいろしてもらっていると思う。今、ICT で活用方法も増えてきているが、先生方はまずそういうことも自分でやってみて、それを活用されて、内容の濃い授業をされていると思う。

(学校長) 確かに ICT が入り、会議でもペーパーレスに。もっと校長としても考えていく。働き方改革で助かっているのが、教育委員会から派遣されている「支援員」とか「SSS」という人がおられて助かっている部分大きい。しかし、そうしてもらっていても、(残っている)現状がある。

(B 委員) SSS のような専門用語的なものを言われてもわからない。情報もあまりないので。

(学校長) 英語で言うと、「スクールサポートスタッフ」と言い、先生の業務を助けてくれている。授業をすることはできないが、丸をつけたり、掲示物を作ったり、教頭の作成したものを印刷したりしてもらって助かっている。

(C 委員) 出退勤も ICT 化されているのか？

(学校長) 出勤時と退勤時にパソコンを押している。

(B 委員) 学校内でけんかはあるのか？

(学校長) あまりない。中学校でも減ってきたように感じる。それはいいことか悪いことか。人に関わらないのかと。口での言い合いはあるが、殴ったりとかのけんかはない。

(D 委員) ボランティアでクラスに入らせてもらっている。先生が子どもの許可を経て、綴ったものを読んでいる。しっかり書けていて感動した覚えがある。書くことができない子にとっても、誰かの文章を聴くだけでも勉強になる。こういう風に綴ればいいんだと見本を聴かせてもらっているような面もあるのでは。

働き方改革に関して、教育委員会にお願いしたいこと。一般事務的なことで作業をもう少し減らすことができるのでは？また、校長先生、教頭先生が短いスパンで変わられる。変わられる先生も大変だし、変わられるたびに一から関係を作っていかなければならない。

(教頭) みんなの前で自分の綴り方を聴いてもらう、あたたかく受け止めてくれることで、「私のも聴いてほしい。」となっていく。そういうことが先ほどの「けんかが少ない。」仲間づくりにつながっているとも思う。

(学校長) この経営方針で頑張っていこうと思います。

もう一枚、「令和6年度の長太小学校の配当予算」です。委員のみなさまもお知りおきください。

②令和6年度の年間計画について

また、変わることがあればお伝えします。

(2) 令和6年度学校運営協議会開催日程(予定)について

(学校長)

・今回の日時変更について

・次回の授業参観について

子どもを見てもらう機会を増やしたい。また、昨年は大木中学校区の人権の授業を観てもらったと思うが、今年も連絡します。

・3 回目は先生も参加し、運営委員のみなさんとテーマ別に分かれて、先生たちと委員さんで話す機会をもってもらいたい。

・4 回目は中学校区の運営協議会です。去年は外国籍のことについて教育支援課の先生に話してもらった。今年もテーマを決めて進める。

・5 回目は学校運営の評価をしていただく。

・6 回目は運営委員会と保健委員会を兼ねての日になる。

(E委員)

これ(学校運営協議会)はスクリレで連絡はありますか？みまもりたいの一斉下校の時、前日ではなく、直前に連絡があって、困った。できれば、1 日か 2 日前に連絡いただければうれしい。よろしくお願いします。

2 連絡

- (1) 連絡配信アプリ「スクリレ」について
- (2) 第2回学校運営協議会について

3 鈴鹿市教育委員会事務局 教育支援課

(加藤先生)

- (1) 学校経営の構想の承認があったが、キーワードを覚えていただきたい。キーワード「①わかる、できる」「②つながり」「③家庭、地域」「④笑顔」次回の授業参観もそういったキーワードを見ていくと分かりやすい。年度末の学校関係者評価につながる。
- (2) 「働き方改革」について
 - ① 先生たちの持つクロムブックが「働き方改革」につながっている。以前は学校に2、3台で順番待ちがあった。また、以前は教材も手作りが多かったが、今はパソコンで作り、授業でそのまま子どもたちに提示することができる。また、先生たちのデータベースでパソコンが繋がっていて、そこにいろいろ教材が入っていて、みんなで共有ができる。
 - ② 「みまもりたい」が機能していて、皆さんが朝など地域に立っていただくことで、先生たちは教室で子どもたちを待ってあげることができる。帰りもそうです。そのため、先生は子どもたちにより長く関わるができる。皆さんの協力によっても「働き方改革」ができています。感謝申し上げます。
- (3) 本日のスクリレの説明も映像等で視覚的に工夫して説明すると時間短縮になる。子どもの授業と同じ。クロムブックはうまく使うと子どもたちにとって「いい文房具」となる。教育委員会も気を付けて使うよう発信はしている。ぜひ、今後も使いやすい文房具になるよう、発信していく。
次回は、実際の子どもたちを見て、はなしができたらと思う。